

## 80204燃料小売業における死傷災害100事例 (-2017年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	11~12	スタッフ出入口の横の机で、作業等の書きもの後、洗車機に向かうため振り向き様に階段を1段下りようと思って動いたところ、もう1段あり、足を踏み外して左足を捻ったとき、全体重がかかり骨折に至った。	47	19	413	1~9
2	2017	12	15~16	給油終了後、お客様から現金を預かり、精算機の方に走って向かい、止まる際にフィールド上の溝に足を引っ掛け、外側に捻った。	17	19	417	10~29
3	2017	12	11~12	灯油の入ったポリ容器（18L）を運んでいたところ、右足首に違和感を覚え歩行が困難になった。	71	19	921	1~9
4	2017	12	13~14	客先工場内で、有機溶剤（トリレンジイソシアネート、発泡ウレタンの原料）送液配管の保温材を盛り替えるために、管表面に付着していた溶剤の固着物を削ぎ落としていたところ、ストレーナー付バルブ上部の蓋押さえ金具が外れ、溶剤が吹き出し、上半身に溶剤を浴びて受傷した。	50	12	514	10~29
5	2017	12	15~16	一般住宅のリビングにおいて商談のため約1時間正座をしていた。立ち上がろうとした際、足がしびれ左足を内反捻挫した。	41	19	911	30~49
6	2017	12	16~17	配達先のビニールハウスのタンクに給油をし、頭上にあったタンクの蓋を閉める際に、蓋がうまくかみ合っていなかったため外れて、頭に当たり負傷した。	63	4	418	1~9

7	2017	12	17~18	工場内で2人でガスボンベの整理作業を行っていた際、相手が2本の瓶（1本約100kg）をローラー上で押して渡してきた時に、勢いが強く瓶を掴みきれず、置いてあった瓶との間に左手（指）を挟んで負傷した。	28	7	911	10 ～ 29
8	2017	12	23~24	ピット室で車をリフトアップしタイヤ脱着作業を行った。作業の工程でリフトのアームを使用して行う為、作業終了後、アームを格納するところでスライドさせてしまい、アームが下に落ちアームとリフトの間に指を挟んでしまった。	20	7	229	10 ～ 29
9	2017	12	17~18	会社の郵便物発送のため、郵便局に入ろうとして入口に向かう途中、やや登りになっている凍結した路面で足を滑らせて転倒し、身体の左側面を地面に強く打ち負傷した。	52	2	417	10 ～ 29
10	2017	12	9~10	給油所内で、計量機1番（レギュラーガソリン）に停車した車の対応のために、計量機3番（軽油）から、小走りで近寄った際に、計量機2番付近で転倒した。	28	2	719	1～ 9
11	2017	11	10～ 11	給油所内の作業場（ピット）で、車のオイル交換作業中に、ピットを飛び越え損ね足を滑らせ、転倒し、胸を打ちあばら骨を骨折した。	43	2	414	1～ 9
12	2017	11	9～ 10	お客様宅で設備車両荷台にて、配管のネジ切り作業を行っていたところ、配管を支えていた左手を回転する配管に巻き込まれ、中指第二関節部より切断した。	55	7	159	10 ～ 29
13	2017	11	14～ 15	加害者が給油の為来店、給油終了後に対応した被害者が送り出しの為、前道路まで誘導した。歩道に差し掛かるところで安全の為、車の一旦停止をジェスチャーと声で求めたところ、加害者がアクセルとブレーキを誤って踏み間違えた為、被害者を轢くに至った。車と被害者の接触については正面衝突は免れたが、右手がぶつかり、さらに倒れた体の左足部分にタイヤが乗る形となった。	26	17	231	10 ～ 29
				自動車道上り線サービスエリアの厨房内にて、厨房器具のガス				

14	2017	11	14～ 15	レンジを交換するためガスコックを閉じガス配管を外したが、何かしらの原因でガスが漏れ、ガスレンジの隣に設置しているガステーブルで火気を使用していたため引火し、火災が発生した。出火した際に、身体が炎に覆われ、顔などを負傷した。	23	11	513	100 ～ 299
15	2017	11	13～ 14	当社洗車拭き上げ場所において、お客様の車（大型車）を拭き上げ作業をしている時、右側側面前側を拭き終わり、後部側に移り脚立に登り拭く作業をし、その脚立を横に移動した瞬間ロックが外れ脚立の脚が内側に折れてしまいバランスを崩し、転倒し頭部・肩・腰・踝付近を強打して打撲する負傷をした。	52	1	371	10 ～ 29
16	2017	11	8～9	作業所内の高所に置いてある商品を整理するため、棚に脚立を立て掛け作業をしていた。作業が終わり、脚立を降りようとした際に、脚立が滑りバランスを崩して背中から落下し、作業所内の機械に背中をぶつけ、床に落ちた。	55	1	371	1～ 9
17	2017	11	17～ 18	営業所で、重さ約10kg程のホースの中の燃料を空にする作業のため、ホースにつないだピストルを持ってタンクローリーの上（1m程の高さ）に上がって作業をしていた。作業終了後、片手にピストルを持って梯子から下りる際、左足を伸ばした瞬間に痛みが走り、左ふくらはぎに肉離れを起こしたものである。	50	19	221	1～ 9
18	2017	11	13～ 14	洗車場で洗車作業中に脚立に立った時、強風により身体のバランスを崩し脚立より落下した。右肩付近の痛み、左右手首の捻挫、左かかとの打撲、右手首の捻挫。両ももの痛み、両ふくらはぎの痛み、背部、腰部の捻挫となった。	48	1	371	1～ 9
19	2017	11	16～ 17	営業先への配達が終わりに営業所の駐車場に戻り車から制服を自家用車に積み込もうと自家用車に向かう為、駐車場の出入口を通らず駐車場を取り囲むフェンスを越えて行こうとし、右足から越えたがその後左足がフェンスに引っ掛かり、右側から転倒し、右膝を強く打った。	55	2	417	10 ～ 29
				ガソリンスタンド内の給油場所において、車両停止用の白線の				100



28	2017	10	21～ 22	給油所2階の更衣室で制服に着替えて階段を降り、最後の段を踏み外してしまい、バランスを崩して右足首を捻った。	44	2	413	～ 29
29	2017	10	10～ 11	前日の雨で路面が濡れている山の中の道で、バイクにて外務活動を行っていた時、下り坂で左折しようとしてハンドルを切ったところ、スリップして転倒してしまった。その時に左足をバイクと路面に挟まれ捻ってしまった。同時に左手首を負傷した。	47	17	231	1～ 9
30	2017	10	8～9	解体現場において、石油燃料を重機に給油する作業を行っていた。現場が狭く給油作業をするために、50cm程度のフェンスをまたいで給油していた。給油作業を終え戻ろうとフェンスを越えたところで足元を滑らせ転倒した。前日の雨で足元が滑りやすい状態で、不安定な体勢で作業をしていたのが原因である。	38	2	417	1～ 9
31	2017	10	13～ 14	お客様宅訪問の際に玄関前付近にて、雨で滑りやすい状態であった場所で足を滑らせ転倒、その際左足を骨折してしまった。	56	2	719	1～ 9
32	2017	10	9～ 10	脚高のホームタンクに給油しようとして中段まで上がった際、左足が滑りそのまま左足から落下着地、その時はちょっとした痛みだったため、そのまま配送を継続、翌日、翌々日も通常通り配達したが、4日後から膝が痛みだした。	42	3	419	50 ～ 99
33	2017	9	17～ 18	勤務中トラックの来店に気付き誘導に向かう際、段差につまずき体勢が悪く肩から転倒した。	51	2	417	10 ～ 29
34	2017	9	19～ 20	飲酒運転と思われる暴走車両が構内に侵入、他車に激突後看板に接触しつつ走行を続け、業務中の被災者を轢いた。	17	17	231	10 ～ 29
				LPガス充填所で配送車両に50k容器積み込みの作業中にバランスを崩し体勢を立て直そうとした所、左足がプラットホームの				10

35	2017	9	0～1	角に半分かかっていた為、力を入れた瞬間に足がすべり工場から転落したと同時にその容器も一緒に落ちて腹部へ当たった。その後、臍臓損傷で臍液が漏れており、緊急手術を行った。	28	1	416	～ 29
36	2017	9	9～ 10	交差点にて青信号進入時に、コンクリートミキサーと出合頭衝突事故。はね飛ばされた後、ガードレールに衝突。	76	17	221	1～ 9
37	2017	9	7～8	ガソリンスタンド内の清掃を終え、トイレから出てきたところ、虫が飛んできたため、その虫を手で払って避けようとした際、バランスを崩し転倒し、左後頭部を地面に打ちつけ負傷した。	72	2	719	10 ～ 29
38	2017	9	23～ 24	閉店後、洗車機の支払機に精算レシートを取りに行った。その際、支払機後方にある車止めにつまずき転倒。近くにあった手洗場のコンクリに胸とヒザを強打した。	55	2	418	10 ～ 29
39	2017	9	16～ 17	店内において洗車終了のお客様の車を移動させる為、駆け寄った際に濡れていた地面で足を滑らせ転倒、頭部と首を強く打ちつけた。自力では動けず、救急車にて搬送された。	41	2	417	10 ～ 29
40	2017	9	18～ 19	工事現場に配達中、給油場所が盛り土の上であり、盛り土の上へ上がって給油後下りる時に、暗くなっていた為足をつく所が見えなくて、すべり落ちた時に痛めた。	28	1	711	1～ 9
41	2017	9	17～ 18	事務所駐車場にて、LPガス用のガス管の切断をしようと被災労働者にガス管をおさえてもらうよう依頼、素手で持とうとしたので手袋をするように言った。その手袋が甲の方は布で平の方はゴム製のためガス管といっしょに手を持っていかれたため骨折した。	57	7	159	30 ～ 49
42	2017	9	9～ 10	当社においてコンプレッサータンク内の水抜き作業で出た水を洗車機場に捨てに行ったら際、洗車機横で足を滑らせ洗車機レールに転倒し腰と頭を強打。頭部から出血、腰の痛みのため動けなくなり1時間ほど様子を見ていたがよくなるため救急車により搬送された。	42	2	417	50 ～ 99

43	2017	8	15~ 16	ガソリン給油中、給油作業の移動の際、ホースを跨ぐときに足が引っかかり転倒し、その際に左膝を地面（コンクリート）に強打し負傷した。	68	2	391	1~ 9
44	2017	8	11~ 12	配達先で重機に給油作業中、重機から降りるとき、足を滑らせ落下した。	64	1	145	10 ~ 29
45	2017	8	11~ 12	ガス代集金のため顧客先を訪問中、玄関先でチャームを押そうとしたとき、足をぬかるみに取られ転倒し、骨折した。	45	2	417	1~ 9
46	2017	8	17~ 18	当社セルフガソリンスタンド、事務所内において監視中、外設POSがエラー発生し対応に向かおうと監視事務所出入り口から走り出した時、右足から「プツン」と音がし負傷した。	52	19	921	50 ~ 99
47	2017	7	14~15	取引先にて、ガソリンの地下タンクの残量確認作業中、地面にある地下タンクの蓋（マンホール小程度の大きさ）を開けようと中腰になり右手で引っ張り上げたところ、右腰に痛みを感じた。その時は歩ける程度だったため当日はそのまま仕事をし、帰宅した。その晩、夜中にトイレに行こうと起きたところ、激しい痛みで歩けなくなった。全く動けない状態が続いたため会社を休み、少し歩ける状態になった。	47	19	521	10 ~ 29
48	2017	7	15~16	工場内で、トラックからドラム缶の荷卸し中に、炎天下で作業したため、熱中症となり、意識が無くなりトラックから転落した。（後ろ向きあおむけ） 天気：晴れ34度、湿度59%、屋根なし 作業：昼過ぎから開始 作業前に給水、途中も油倉庫日陰で休憩したが、熱中症になった。	43	11	715	1~ 9
49	2017	7	11~12	貯水槽タンク水量確認中、蜂に襲われはしごから2m程落下、左かかと粉碎骨折。	55	2	417	10 ~ 29
				給油所建物裏の土地の除草をするために、エンジン付噴霧器を				

50	2017	7	13~14	背負い除草剤を散布中に、草丈が長かったためつまずいて転んだ。その先にあった物体に左膝をぶつけ負傷した。ぶつけた物体について後日確認したが、わからなかった。	69	2	719	1~9
51	2017	7	9~10	当社倉庫兼作業所にて、重機部品（プラウ）の塗装作業中に、部品上面塗装のためには高さが足りなかったため、近くにあったビールケースを足場として利用し、作業中に後方へ足を踏み外して、しりもちをつく形で転倒し、脊椎を痛め、入院となる。	77	1	371	1~9
52	2017	6	11~12	ローリー荷台から足を滑らせ転倒し、左肩を負傷したものである。	40	2	221	10~29
53	2017	6	15~16	ガソリンスタンドのピット（作業場）内で車両整備中に、脚立に足を掛けて登ろうとした際に、ピット段差部の隙間に脚立の脚が挟まり、バランスを崩し転倒した。その際に、付近に設置されていた廃油受けに左肩を強打した。	38	2	371	10~29
54	2017	6	21~22	洗車場奥にある部屋に向かう途中、洗車機周りの苔により足を滑らせ、前のめりに転倒し、右肘を地面に強く打ちつけた。	30	2	417	10~29
55	2017	6	15~16	最終処分場の敷地内にて、ローリーの運転席から降車した際、鉄板の地面が散水により濡れていたため、足を滑らせて転倒した。右足を捻ったため、右腓骨にひびが入った。	21	2	419	10~29
56	2017	6	17~18	傷病の原因は確認できていないが、先に本人より提出された休業補償給付申請書が労基署より認定を受けたため。	40	90	921	10~29
57	2017	6	15~16	ガソリンスタンド内にて、側溝の清掃作業中、溝蓋を外そうと持ち上げた際に右手を怪我した。	44	19	418	1~9
			10~	所内で充填作業中の社員に業務連絡をする際、プラットホーム				1~

58	2017	5	11	上でLPガス容器をのせるコロの上に誤って足をのせ転倒し、右大腿骨を骨折した。	55	2	379	9
59	2017	5	10～ 11	ガソリンスタンドフォアコート内で停車中の車のカギを取りに行ってもらった時に、段差を踏み外し右足首を負傷した。	26	2	413	1～ 9
60	2017	5	14～ 15	事務所内の2階より書類を持って1階へ下りる時、階段上部より足を踏み外し、尻から転落し、頭部を打ち、尾骨を強打した。	55	1	413	1～ 9
61	2017	5	11～ 12	当社構内で、LPガス貯蔵タンクからバルクローリー車へLPガスを充填する作業を行う際に、タンクからローディングアームを車体へ接続する前に誤って液側バルブを開けてしまい、液体ガスを胸から足にかけて直接浴びて凍傷による火傷を負った。	28	11	519	10 ～ 29
62	2017	5	17～ 18	お客様の車へ給油中に、ガソリン計量機のホースに左側の足を引っ掛けたため、転倒し、右足膝を骨折した。給油中には、ホースを跨いで作業をすることは安全上問題が出るので禁止を指導していたが、指導を守れなかった。	52	2	417	1～ 9
63	2017	5	16～ 17	3号倉庫で製函作業をするにあたり材料を取り出す際に、奥に立ててあるベニヤ板の束が倒れてきて支えきれず転倒し、腰部を強打した。	25	19	379	10 ～ 29
64	2017	4	17～ 18	給油所内で自分の担当する車の給油を終え、精算するためにPOSに伝票を取りに行き、伝票を持ってまた車の方へ戻っている時、POSに近い計量機で給油中の車に差し込んであるホースをまたぐ時にホースに気づかず、右足を引っ掛けて転倒した。 (ホースは地面に面している)	61	2	379	1～ 9
65	2017	4	9～ 10	ガスボンベを配達中、メーター近辺の安全確認の為に側道から近づいた所、犬小屋のフェンスが破れている部分から犬がとび出して来て、左足を噛まれた。	26	7	719	10 ～ 29
66	2017	4	10～ 11	当事業所整備工場内において車検整備作業中、大型車輛の前輪を脱着していた際に、ホイール付タイヤに誤って足首辺りを挟	62	4	221	1～ 9

				まれた。				
67	2017	4	11~ 12	SS内のピット作業場タイヤチェンジャー前にてタイヤ交換作業中に、中腰姿勢からタイヤをタイヤチェンジャー機に載せた際に腰から激痛が走り、その場で動けなくなった。その後、左下肢に鋭い痛みと電気が走るような痛みが増し、腰椎椎間板ヘルニアと診断される。	29	19	921	50 ~ 99
68	2017	4	13~ 14	プロパンガス（ボンベ総重量40kg位）配送時、道路から戸建住宅の間にある階段を移動中、ボンベの重みによりバランスを崩して腰に荷重がかかり、激痛が走り動けなくなった。腰の激しい痛みに加え、両足に痺れも発症した。	34	19	611	1~ 9
69	2017	3	16~17	置場（ホーム高さ1m）にトラックを後向きで着けて、トラックに積み込む作業（回しながら移動させる方法）をしていたところ、回し方の角度を間違えて倒れそうになった為、ゆっくりと寝かせようと右足で支えながら倒した為、右足の踝部分を挟み負傷した。原因は、作業の慢心によるもので、本来はホイストで吊りトラックに積み込む作業をしていたが、それを怠った。	31	7	319	30 ~ 49
70	2017	3	11~12	道路にて、積載車の荷台に乗り、固定ワイヤの付け替え作業をしていた。作業完了後、荷台から降りたとき着地に失敗して足を滑らせ、転倒した際に背面から倒れてしまい、尾てい骨と後頭部を強打し、第一腰椎を骨折した。	77	1	221	1~ 9
71	2017	3	11~12	客先構内でLPガスボンベの交換作業中、50kgボンベをトラックのパワーゲートから降ろそうとしたところ、ガスボンベが滑り、転倒しそうになった。配送員はボンベが転倒するのを防ごうとしたが、バランスを崩し尻もちをついた。その際にガスボンベが左足の上に転倒し、地面との間に挟まれるかたちとなった。当日は雨が降っており、パワーゲートの表面は滑りやすい状態であった。	57	2	611	30 ~ 49
				ガソリンスタンドの隣にある歩道でお客様から預かった車の力				

72	2017	3	16~17	ギを持ったまま帰ったため、そのお客様をあわてて走って追いかけた。その時につまずいて勢いよく前面に転び、左足をひねり、歩行が困難になった。	31	2	417	1~9
73	2017	3	13~14	タイヤ入れ替え作業を行うため、タイヤチェンジャーへホイールを固定したが、固定が甘くホイールが動いてしまい、左手人差し指を挟み込んで骨折した。	27	7	391	1~9
74	2017	3	10~11	セルフスタンド構内でおお客様の給油手伝いをしている際に、隣のレーンで車移動を行っていた別のお客様が、ブレーキとアクセルの操作を誤り、バックで激突してきた。	68	6	231	1~9
75	2017	3	10~11	作業員が、需要家宅より取り外された容器（18kg）を車荷台に積み込む際、別の容器にあたり、別の容器が作業員の足元に落下した。	22	4	319	10~29
76	2017	2	15~16	取引先向かい側に車を停めて、LPガス20K容器を肩に担ぎ道路を横断中、左足からブチッと音が聞こえた。痛みがはしり、一旦容器を下ろしたが、道路を横断中だったのでそのまま横断した。救急車にて病院へ搬送された。	37	19	921	1~9
77	2017	2	14~15	給湯器修理依頼を受け、給湯器場所に向かう途中、敷地内地面にダンボールが置いてあり、その上に乗ったら、バランスを崩し、左膝を浄化槽鉄製蓋に打ちつけ、転倒し、左膝蓋骨を骨折した。負傷後すぐに病院へ行った。通路にあった置かれたダンボールを踏んだものであって、何かの作業を行っていたものではない。勤務上ダンボールの上に乗る必要はない。	58	2	417	10~29
78	2017	2	14~15	ガスボンベの移動作業をしていた。その際、充填機材周辺のレールに右足が掛かり、滑って転倒し、左手を地面に強打し手首を捻挫した。	53	2	417	—
				所内にて、会社ルールでは2名以上でヘルメットを着用し作業することになっていたが、他の人が忙しかった為、一人でヘルメットの着用を失念したまま、雑品庫の2階部分を清掃する為、				

79	2017	2	16~17	左手に箒と塵取りを持ち、壁面設置はしごを登っていた際、はしご最上段部分を握り損ね、床面へ転落し、床面と雑品庫入口扉を開放するために置いたバッテリーに腰、背中 of 順で体を強打し、最後に雑品庫入口扉に頭部を打ち、負傷したものである。	35	1	371	—
80	2017	2	13~14	赤信号で止まっていた時、青信号に変わったので発進しようとしたら、前の車がエンストして止まったので自分も止まったところ後方よりトラックに追突された。	34	17	221	10 ~ 29
81	2017	2	11~12	書類を探す為、書庫の一番下の段の（書類の入った）ダンボール箱を2個、しゃがんで引っ張り出した。膝がダンボールに当たるので、脚は、横を向き、胴体は正面を向いた姿勢で作業した為、右腰の骨盤辺りに痛みが起きた。	60	19	611	—
82	2017	2	18~19	当工場にて充填された容器をプラットホーム内に出荷準備作業中に、自動コンベアから搬送用コンベアに切り替えて手動にて容器を押す際、前方に容器がある事に気付かず、自分で押している容器との間に容器に添えていた右手を挟み中指第一関節部に挫傷の怪我を負った。	34	7	611	10 ~ 29
83	2017	2	0~1	配送センター敷地内で、3t車トラック荷台に積んである空のドラム缶に灯油の積み込み作業を行っていた際、荷台より落下してしまい右手、頭部を地面に打ち負傷したものである。	56	1	221	1~ 9
84	2017	2	5~6	弊社営業所室内において、出庫前の作業の途中、事務所に小走りで入室しようとしたところ、足がもつれて事務所入口前のコンクリート製の足場（地面との段差30cm）の角に右足を強打して負傷したものである。	48	3	418	—
85	2017	1	23~ 24	トラック給油作業終了後、ポイント交換の為、計量機横より事務所内へ行く途中、転倒して頭部を打った。	59	2	417	1~ 9
				客先の除雪用重機（ホイールローダー）に軽油を給油するため				

86	2017	1	18～ 19	出向いた。複数の重機が隙間なく停車してあったので、移動のために重機のバケット上を歩いたとき、バケット上で滑って、とっさに地面に下りたら、右足の足首から下をひねるような形となり負傷した。	64	3	141	1～ 9
87	2017	1	17～ 18	当社において新聞作業場の屋根の上の雪降ろし中、バランスを崩し屋根（高さ2.5m）から地面へ落下し負傷した。	56	1	415	30 ～ 49
88	2017	1	8～9	弊社事業所構内（平面アスファルト舗装）を歩行中、地面の凍結に気付かず、足を滑らせ転倒した際、右足首を骨折した。	29	2	417	10 ～ 29
89	2017	1	13～ 14	お客様宅にてLPガス容器交換作業中、トラックの荷台から容器を降ろすときに右足が滑り、荷台から落ちバランスを崩した状態で足を挫いたため、右足首にヒビが入った。	45	1	221	—
90	2017	1	15～ 16	灯油の配達先ですべてって転倒して、背中から脇腹にかけて強打した。	67	2	719	10 ～ 29
91	2016	12	14～ 15	洗車場の掃除で枯れ葉を集め、塀の上の山林に捨てるのに脚立を利用して。脚立は伸ばしてハシゴにし、塀に掛けて登って捨てた後、降りている時にハシゴが滑って踵から転落した。その時に踵を強打し、骨折した。	60	1	371	10 ～ 29
92	2016	12	22～ 23	バイパス内で夜勤勤務時に、ドライブスルー洗車業務を閉めた後、洗車機の清掃を行う際、滑って転倒。その際に右手をつき、肩を痛めた。	72	2	418	10 ～ 29
93	2016	12	16～ 17	整備工場で、コンテナ車の天井の修理を終え、使用していた脚立から地面へ降りる際、足をすべらせた。着地の際、足を捻る形で足を着いたため、左足のくるぶしを骨折した。	43	1	371	100 ～ 299
				給油所フィールドで給油作業中、大型トラックの給油来店があ				

94	2016	12	14～ 15	り、とても急いでいる様子であったので、急いで受注、給油カードと給油口の鍵を預かり、駆け出した時にその大型トラックのドア部分に不意に身体の右側を勢いをつけて強打し、転倒した。	47	3	221	10 ～ 29
95	2016	12	11～ 12	客先でガスボンベを配送後、空のガスボンベをトラックに積み込んだ後、高さ約90cmのトラックの荷台から降りようとして、右足が荷台に引っかかり、左足から地面に落ちた。落ちた瞬間に左膝に痛みが走った。	52	1	221	1～ 9
96	2016	12	13～ 14	給油所のドライブウェイで2台対応しており、1台目の客のところに駆け足で戻る際に、右足首を捻ってしまった。	42	19	921	1～ 9
97	2016	12	12～ 13	接客した顧客からオイル点検を依頼され、ピットに走ってウェスを取りに行った際、設置のタイヤリフト上を通過した為、金属部で足を滑らせ転倒した。	33	2	169	10 ～ 29
98	2016	12	19～ 20	給油施設にて車両に給油をする際、計量機ノズルが高い場所にあるため、少しジャンプをしたら、右足に痛みが走り、立てなくなった。	43	19	921	1～ 9
99	2016	12	11～ 12	洗車場にて洗車機で客の車を洗う前に、正面を向いて少し腰を屈めた姿勢で、側面の大きな汚れを右手でスポンジを使って落としていた時に受傷した。	19	19	921	10 ～ 29
100	2016	12	5～6	中央給油所にて、6時開店準備の為、道路側の進入口にのぼり旗を立てようとした時、路面凍結により後ろ側に転倒し、頭を強打した。	54	2	719	10 ～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。